

アニメ「アルプスの少女ハイジ」論

藤 森 猛

摘 要

1974年、高畑勲、宮崎駿、小田部羊一做了一部电视动画《阿尔卑斯山的少女海蒂》。这部卡通片在世界都广受欢迎。本论先说明中国的动画片的简历，其次解释日本动画片和吉卜力的发展史。最后通过中日两国的动画片历史，考察《阿尔卑斯山的少女海蒂》的特点和魅力。

TV 动画《阿尔卑斯山的少女海蒂》是吉卜力以及新日本动画的出发点。

关键词：动画，阿尔卑斯山的少女海蒂，高畑勲，宮崎駿，小田部羊一，吉卜力，中国动画片

はじめに

アニメ『アルプスの少女ハイジ』の原作『ハイジ』は、ヨハンナ・シュペーリ¹⁾によって、1880～81年に出版され、日本では1920年に野上弥生子によって最初に翻訳された²⁾。1974年、高畑勲、宮崎駿、小田部羊一らによって、テレビアニメ『アルプスの少女ハイジ』が放映され、日本、中国、韓国をはじめとする東アジア各国に空前の日本アニメブームが訪れるきっかけとなる作品となった³⁾。

本論においては、まず日本アニメの土台となった中国アニメの歴史を概括し、次に日本における近年のアニメ制作の中で、テレビアニメ『アルプスの少女ハイジ』がどのように制作されたのかをまとめていく。最後に、アニメ『アルプスの少女ハイジ』にはどのような魅力があって、東アジア各国の人々に受け入れられたのかを考察していきたい。

一 中国アニメの発展

中国のアニメーション（アニメーション全体を指す時は以下、「アニメ」と略す）は、歴史的に、主としてアメリカの劇場版アニメーション映画（以下、「アニメ映画」と略す）、日本のコミック本の漫画（以下、「コミック」と略す）およびテレビアニメーション（以下、「テレビアニメ」と略す）の影響を受けながら発展してきたといわれる。

(1) フライシャー兄弟の影響

表1は中国アニメの略史である。20世紀の中国アニメは、万籟鳴、万古蟾、万超塵、万滌環の万4兄弟によって発展した。中国初のアニメ作品は1925年のタイプライターの広告アニメであり、26年、初のアニメ映画『大闹画室』（孫悟空 アトリエは大騒ぎ）も万兄弟によって制作された⁴⁾。これらの中国アニメは、主として1920年代のアメリカ・フライシャー兄弟のアニメ作品の影響を受けて発展したといわれる⁵⁾。

(2) ディズニーアニメの影響

1931年に始まった日中15年戦争は、37年の盧溝橋事件により全面的な戦争に発展し、中国のアニメは抗日スローガンを流すメディアとされ活用された⁶⁾。また37年にはウォルトディズニーにより世界初の長編カラーアニメ映画『白雪姫』が制作され、中国の上海などで『白雪公主』の名で公開された⁷⁾。『白雪姫』は、分業による企業的生産方式による商業的アニメ映画制作の開始となり⁸⁾、1941年、万兄弟による中国初の長編アニメ映画『鉄扇公主』（西遊記 鉄扇公主の巻）の制作につながった⁹⁾。

(3) 上海アニメ映画製作所による制作

万兄弟による紙原版・セルロイド原版を使う「ペーパーアニメ」、セルアニメが「動画」の主流として発展をしたのと同時に、粘土・布・木材・紙などの素材による立体アニメ・アートアニメ・クラフトアニメが生まれ、「人形アニメ」、「折紙アニメ」、「切絵アニメ」などのアニメジャンルが生まれた¹⁰⁾。またアニメ原画に水墨画を用いる「水墨アニメ」が生まれ¹¹⁾、「上海美術電影製片廠」（上海アニメーション映画製作所）による「セルアニメ」、「人形アニメ」、「水墨アニメ」、「折紙アニメ」、「切絵アニメ」の制作体制が整えられた¹²⁾。アニメ制作が進む中で、1966年、政治闘争である文化大革命（1966-76年）が起き、アニメーターは制作の現場を追われ、アジアのアニメ映画を牽引した中国アニメ制作を停滞させるものとなった。文革期の中国の文芸は、毛沢東を崇拝する「样板戏」（革命的模範劇）の制作が求められ、1966～76年には、アニメ映画は11年間でわずか20本しか制作が行われな

かった¹³⁾。アジアのアニメ制作の中心地は、中国から日本へと移っていった。

表1 中国アニメ映画関連の略史

1919年	アメリカ・フライシャー兄弟『Out of the Inkwell』（インク壺の外へ）制作
1925年	初のアニメーション作品『舒振东华文打字机』（タイプライターの広告）制作
1926年	初のアニメ映画『大闹画室』（孫悟空 アトリエは大騒ぎ）制作
1935年	初のトーキーアニメ映画作品『骆驼献舞』（ラクダの舞）制作
1937年	抗日アニメ作品『抗战标语卡通』制作
	アメリカ・ウォルトディズニー『Snow White and the Seven Dwarfs』（白雪姫）制作
1941年	初の長編アニメ『鉄扇公主』（西遊記 鉄扇公主の巻）制作
1947年	初の人形アニメ『皇帝夢』（皇帝の夢）制作
1958年	初の切絵アニメ『猪八戒吃西瓜』（猪八戒・スイカを食う）制作
1960年	初の折紙アニメ『聪明的鸭子』（かしこいアヒル）制作
	初の水墨アニメ『小蝌蚪找妈妈』（お母さんを探すオタマジャクシ）制作
1963年	日本・初のテレビアニメ『鉄腕アトム』放送開始
1979年	長編カラーアニメ『哪吒闹海』（ナージャ海を騒がす）制作
1980年	日本・テレビアニメ『鉄腕アトム』（第2作）放送開始
1986年	シリーズアニメ映画『葫芦兄弟』（ひょうたん兄弟）制作
1987年	シリーズアニメ映画『黒猫警长』（黒猫警部）制作
1994年	アメリカ・ディズニーアニメ映画『The Lion King』（ライオンキング）制作
1999年	アニメ映画大作『宝蓮灯』制作
2000年	初のCGアニメ映画『宇宙与人』（宇宙と人）制作
2016年	日本・アニメ映画『君の名は』の大ヒット

（出所）程季華『中国電影發展史1』『中国電影發展史2』中国電影出版社，1963年；張駿祥『中国電影大辞典』上海辞書出版社，1995年；小野耕世『中国のアニメーション』平凡社，1987年；柿沼勉編『アジア IN コミック2005』国際交流基金，2005年等を参照して作成。

二 日本アニメの発展と「アルプスの少女ハイジ」の制作

(1) 中国アニメの影響

日本のアニメ映画の制作は、1917年、下川凹天、北山清太郎、寺内純一がアニメ映画制作を開始したことに始まるとされている¹⁴⁾。日本のアニメーション技術も中国と同様に、フライシャー兄弟やディズニーの影響を受けていたとされるが、1937年、ウォルトディズニーが世界初の長編アニメ映画『白雪姫』を制作した時、日中両国は全面的な戦争状態になった。中国東北部の軍事侵略を進める日本は37年に満州映画協会を設立して、国策映画の制作を本格的に開始した¹⁵⁾。中国のアニメーターが共同租界のある上海で、アメリカのアニメ

作品を見ることができたのに対し、日本は41年に真珠湾攻撃を行い、日本のアニメーターはアメリカのアニメ映画に触れる機会が失われた¹⁶⁾。

ディズニーの長編アニメ『白雪姫』(1937年)、『ピノキオ』(1940年)などが日本国内では未公開の中で、42年、中国の長編アニメ映画『西遊記 鉄扇公主の巻』が日本で公開された。中国のアニメ映画は日本を代表する持永只仁、手塚治虫などのアニメーターに多大な影響を与えたといわれる¹⁷⁾。中国のアニメ映画の影響を受け、1958年日本初の長編カラーアニメ映画『白蛇伝』が制作され、宮崎駿をはじめとするアニメーターに大きな影響を与えた¹⁸⁾。

(2) 『アルプスの少女ハイジ』の制作

1968年長編アニメーション『太陽の王子 ホルスの大冒険』が大塚康生によって制作され、ディズニー映画の制作にみられる集团的分業制作が行われた¹⁹⁾。また作画監督である大塚康生は、新人の高畑勲を演出に抜擢し、宮崎駿、小田部洋一の新人アニメーターを採用して、「演出主導型」のアニメ制作が開始された²⁰⁾。72年『パンダ子パンダ』、73年『パンダ子パンダ 雨降りサーカスの巻』も同様のスタッフチームで制作が行われた²¹⁾。

1973年、テレビアニメ『アルプスの少女ハイジ』の制作が企画され、演出は高畑勲、場面設計(レイアウト)は宮崎駿、キャラクターデザイン(作画)は小田部洋一による制作が始まった²²⁾。三者はスイスのロケハンを経て、制作に取りかかり、1974年1月6日～12月29日に、全52話のテレビアニメ『アルプスの少女ハイジ』がフジテレビ系で放映され、高い人気を博した²³⁾。

(3) 日本アニメの席卷

テレビアニメ『アルプスの少女ハイジ』はドイツ(旧西ドイツ)の「ゴールデンベア賞」、¹⁶⁾「ゴールデンバンビ賞」、スペインの「スペイン児童アカデミー賞」などを次々に受賞して、ヨーロッパで高い評価を得た²⁴⁾。

『アルプスの少女ハイジ』で場面設計を担当した宮崎駿は、1978年初の演出作品テレビアニメ『未来少年コナン』、初の映画監督アニメ映画『ルパン三世カリオストロの城』をてがけ、84年アニメ映画『風の谷のナウシカ』、86年『天空の城ラピュタ』、88年『となりのトトロ』、89年『魔女の宅急便』などのヒット作品を次々と制作した²⁵⁾。宮崎駿監督の97年『もののけ姫』(魔法公主)、2001年『千と千尋の神隠し』(神隠少女)(千与千寻)によって、東アジアでもスタジオジブリ作品の人気は最高潮に達し、世界的な日本アニメブームの原点となった²⁶⁾。

さらに宮崎駿作品の影響を受けたといわれる新海誠監督のアニメ映画『君の名は』(2016

年),『すずめの戸締まり』(2022年)が東アジアで空前のヒットとなった²⁷⁾。ちばかおり氏は日本アニメーションの源流には『アルプスの少女ハイジ』があることを指摘している²⁸⁾。

表2 日本アニメ映画関連の略史

1917年	下川凹天, 北山清太郎, 寺内純一による初のアニメ制作
1937年	満州映画協会の設立
1939年	映画法の施行
1942年	中国アニメ映画『西遊記 鉄線公主の巻』日本での公開
1945年	アニメ映画『桃太郎 海の神兵』制作
1958年	初の長編カラーアニメ映画『白蛇伝』制作(東映動画)
1960年	長編アニメ映画『西遊記』制作(東映動画)
1963年	初のテレビアニメ『鉄腕アトム』放映
1968年	長編アニメ映画『太陽の王子 ホルスの大冒険』(東映動画)
1972年	アニメ映画『パンダコパンダ』制作
1974年	テレビアニメ『アルプスの少女ハイジ』放映
1978年	テレビアニメ『未来少年コナン』放映
1979年	テレビ映画『ルパン三世カリオストロの城』制作
1984年	アニメ映画『風の谷のナウシカ』制作
1988年	アニメ映画『火垂るの墓』,『となりのトトロ』同時公開
1997年	アニメ映画『もののけ姫』公開
2001年	アニメ映画『千と千尋の神隠し』公開
2016年	アニメ映画『君の名は』の公開
2022年	アニメ映画『すずめの戸締まり』の公開

(出所) ちばかおり『ハイジが生まれた日』岩波書店, 2017年; 叶精二『日本のアニメーションを築いた人々』若草書房, 2004年; 『キネマ旬ムック BS アニメ夜話 Vol. 07 アルプスの少女ハイジ』キネマ旬報社, 2008年; 小谷野敦『高畑勲の世界』青土社, 2013年; フレデリック L. ショット著, 樋口あやこ訳『ニッポン漫画論』マール社, 1998年; 宮崎駿『出発点』徳間書店, 1996年等を参照して作成。

三 『アルプスの少女ハイジ』の魅力

表3はヨハンナ・シュピリー原作の『ハイジ』の映画化・テレビドラマ化された主な作品(実写作品)である。テレビアニメ『アルプスの少女ハイジ』が制作される以前に制作された映画・テレビ作品は, いずれも日本・中国などのアジアで人気を得ることは出来なかった。本章では, 日本のアニメブームの原点となった『アルプスの少女ハイジ』が世界的な人気を博することになった要因をまとめていきたい。

表3 『ハイジ』の主な映画・テレビドラマ化一覧（1930～60年代）

年	作品	監督	国名
1937年	映画『ハイジ』	アラン・ドワン	アメリカ
1952年	映画『ハイジ』	ルイジ・コメンチーニ	スイス
1958年	映画『A Gift for Heidi』	ジョージ・テンプルトン	アメリカ
1965年	映画『ハイジ』	ウェルナー・ヤコブス	オーストリア・西ドイツ
1968年	テレビドラマ『ハイジ』	デルバート・マン	西ドイツ・アメリカ

（出所）叶精二「『アルプスの少女ハイジ』で高畑演出が目指したもの」『BS アニメ夜話 アルプスの少女ハイジ』キネマ旬報社、2008年、136ページより引用。

(1) 宗教的内容の削除とエピソードの追加

1973年に高畑勲は『ハイジ』のアニメ化にあたって、ヨハンナ・シュピリー原作『ハイジ』はアニメーションのファンタジーを描くことが困難であると考え、ストーリーを改編し、様々なオリジナル・エピソードを加えた²⁹⁾。アニメでは宗教的なテーマや暴力的なシーンが排除され³⁰⁾、キリスト教的罪にかかわる話は削除され、明るい作品に改編されている³¹⁾。例えばアニメ42話～47話はハイジの待つアルムの山小屋にクララと共に家庭教師のロッテンマイヤー女史が登場する³²⁾。

また原作『ハイジ』に登場する動物は「スワン」、「クマ」、「アトリ」、「ユキンコ」などの山羊に限定されているが、アニメ『アルプスの少女ハイジ』には山羊の「ユキちゃん」に加えて、「ヨーゼフ」、「ピッチ」、「オオツノの旦那」などの犬、小鳥や野生動物にまで登場する動物の輪を広げている。さらにディズニーアニメのように動物が擬人化され、誇張されるのではなく、動物が自然に近い形でリアルに描かれている³³⁾。

(2) 演出、キャラクターデザイン・レイアウトの分化

1937年『白雪姫』に始まったアニメーター主導の集団生産方式は、『アルプスの少女ハイジ』では、演出の高畑勲による演出主導型の制作スタイルが打ち出され、日本のアニメ制作が「アニメーター主導」から「演出主導型」に変化した³⁴⁾。またキャラクターのデザイン（作画）を小田部羊一が担当し、場面設計（レイアウト、絵コンテ）を宮崎駿が担当し、演出・キャラクターデザイン・レイアウトの3つを分化する日本型のアニメ制作が開始された³⁵⁾。

特にすべての場面で自然の山々、山小屋などと登場人物（キャラクター）を絵コンテで具体的な場面を設計していく宮崎駿の手腕は世界的な評価を得た³⁶⁾。

(3) 少女ヒロインの登場

テレビアニメ『アルプスの少女ハイジ』には快活で明るいハイジや聡明で物静かなクララがヒロインとして登場し、ある時には大人たちと対等に話をするのがアニメの魅力になっている³⁷⁾。

中国、韓国をはじめとする東アジアで歴史的な大ヒットした映画、テレビドラマなどの映像作品をみると、演劇、映画、バレエ『白毛女』の「喜兒」、映画『紅高粱』（紅いコーリャン）の「我奶奶」、映画『春香伝』の「春香」、映画『马路天使』（街角の天使）の「小紅」、映画『君よ憤怒の河を渉れ』の「真由美」、テレビドラマ『おしん』の「おしん」、『冬のソナタ』のユジンなどの作品は、すべて少女ヒロインの物語である³⁸⁾。東アジアにおけるテレビアニメ『アルプスの少女ハイジ』のヒットは、主人公のヒロイン少女のキャラクターの設定が最も大きな要因であるといえる。宮崎駿の作品のヒットアニメは、このような少女主人公を主要なキャラクターとして制作されている。

おわりに

ヨハンナ・シュペーリ原作の『ハイジ』は、1974年にテレビアニメ『アルプスの少女ハイジ』として放映されたことにより、東アジア各国に広まった。

本論では、まず日本アニメの基礎となった中国アニメを歴史的にまとめ、その中で日本アニメがどのような発展を遂げ、テレビアニメ『アルプスの少女ハイジ』が制作されたかを説明し、最後にアニメ『アルプスの少女ハイジ』が日本アニメブームを生むきっかけとなった要因を分析した

テレビアニメ『アルプスの少女ハイジ』のヒットは、ジェンダーレスを促進する中国とそれに続く日本や韓国の人々の思いが、ヒロインのハイジやクララの表情や言葉に表れているといえる。

注

- 1) ヨハンナ・シュペーリ（旧姓ホイサー）は1827年、スイスのチューリッヒ湖岸ヒルツェ村に生まれた（J・シュペーリ作、矢川澄子訳『ハイジ HEIDI』福音館書店、1974年、504ページ等参照）。
- 2) 1880年（上巻）『ハイジの修業時代と遍歴時代』1881年（下巻）『ハイジは習ったことを使うことができる』が出版された（森田安一『ハイジ』の生まれた世界 ヨハンナ・シュペーリと近代スイス』教文館、2017年、3ページおよび松永美保「シュペーリ『アルプスの少女ハイジ』」：『NHK100分 de 名著』2019年、12ページ等参照）。

- 3) 『キネマ旬報セレクション 高畑勲』キネマ旬報社, 2013年, 217ページ等参照。
- 4) 石子順『中国映画の散歩』日中出版, 1982年, 194ページ; 佐藤忠男・荻間文俊『上海キネマポート』凱風社, 1985年, 105ページ; 小野耕世『中国のアニメーション』平凡社, 1987年, 6ページ; 張駿祥『中国電影大辞典』上海辞書出版社, 1995年, 147ページ等参照。
- 5) 路盛章他『動画概論』北京広播学院出版社, 2002年, 47ページおよび前掲『中国のアニメーション』16ページ等参照。
- 6) 前掲『中国電影発展史2』27ページ等参照。
- 7) 前掲『中国のアニメーション』27ページ等参照。
- 8) 今村太平『漫画映画論』岩波書店, 1992年, 179ページ参照。
- 9) 前掲『中国のアニメーション』, 29ページ等参照。
- 10) おかだえみこ『人形アニメーションの魅力』河出書房新社, 2003年, 15ページ; 高城昭夫他『アートアニメーションの素晴らしき世界』エスクァイアマガジンジャパン, 2002年, 56ページ; 前掲『中国のアニメーション』59ページ等参照。
- 11) 前掲『電影大辞典』938ページ, 前掲『中国のアニメーション』104ページ等参照。
- 12) 『中国電影年鑑1990』中国電影出版社, 1992年, 415ページ, 『中国電影年鑑2005』中国電影出版社, 2005年, 48ページ, 前掲『中国のアニメーション』74ページ等参照。
- 13) 前掲『中国のアニメーション』183ページ等参照。
- 14) ちばかおり『ハイジが生まれた日』岩波書店, 2017年, 31ページ等参照。
- 15) 前掲『中国のアニメーション』26ページ等参照。
- 16) 前掲『中国のアニメーション』21ページ等参照。
- 17) 前掲『中国のアニメーション』35ページ等参照。
- 18) 宮崎駿はアニメ映画「白蛇伝」のヒロイン(白蛇)に恋をしてしまったと回想している(宮崎駿『出発点』徳間書房, 1996年, 100ページ参照)。
- 19) 大塚康生は1971年から放映されたテレビアニメ『ルパン三世』の作画監督を務めた(叶精二『日本のアニメーションを築いた人々』若草書房, 2004年, 120ページ等参照)。
- 20) 『BS アニメ夜話 アルプスの少女ハイジ』キネマ旬報社, 2008年, 137ページおよび前掲『日本のアニメーションを築いた人々』131ページ参照。
- 21) 前掲『日本のアニメーションの基礎を築いた人』131ページおよび前掲『BS アニメ夜話 アルプスの少女ハイジ』137ページ参照。
- 22) 『BS アニメ夜話 アルプスの少女ハイジ』138ページ, 小谷野敦『高畑勲の世界』青土社, 2013年, 187ページ等参照。
- 23) 『キネマ旬報セレクション 高畑勲』キネマ旬報社, 2013年, 217ページおよび前掲『BS アニメ夜話 アルプスの少女ハイジ』139ページ参照。
- 24) 前掲『ハイジが生まれた日』74ページ, 143ページおよび前掲『高畑勲の世界』187ページ, 217ページ等参照。
- 25) 前掲『出発点』567ページ等参照。
- 26) 李世軍, 鄭聞文『他与她的飞行』交通大学出版社, 2019年, 285ページ等参照。
- 27) 前掲『ハイジが生まれた日』147ページ等参照。
- 28) 同上書147ページ等参照。

アニメ「アルプスの少女ハイジ」論

- 29) 前掲『BS アニメ夜話 アルプスの少女ハイジ』136ページ参照。
- 30) 前掲松永美穂『NHK 100分 de 名著』5ページ、前掲叶精二『BS アニメ夜話 アルプスの少女ハイジ』140ページ参照。
- 31) 前掲森田安一『ハイジ』の生まれた世界』4ページ参照。
- 32) 前掲『BS アニメ夜話 アルプスの少女ハイジ』140ページ参照。
- 33) 前掲矢川澄子訳『ハイジ』36ページ、50ページ、前掲『BS アニメ夜話 アルプスの少女ハイジ』114ページ参照。
- 34) 前掲『BS アニメ夜話 アルプスの少女ハイジ』136ページ参照。
- 35) 同上書139ページ；前掲『日本のアニメーションを築いた人々』55ページ等参照。
- 36) 高畑勲「エロスの火花」（前掲『出発点』）576ページ；前掲『ハイジが生まれた日』106ページ参照。
- 37) 中国の日本アニメ研究では、宮崎駿作品に登場するヒロインの少女を「戦う美少女」と呼んでいる（前掲『他与她的飞行』2ページ等参照）。
- 38) 1945年『白毛女』（魯迅芸術学院）、1950年『白毛女』（長春電影製片廠）、1955年『白毛女』（松山バレエ団）、1987年『紅高粱』（西安電影製片廠）、1923、35、55、58、59、61、80、2000年『春香伝』（韓国、北朝鮮）、1937年『马路天使』（明星影片股份有限公司）、1976年『君よ憤怒の河を渉れ』（永田プロ、大映、松竹）、1983年『おしん』（NHK）、2002年『冬のソナタ』（KBS）（清水正夫『バレエ白毛女はるかな旅をゆく』講談社1983年65ページ、佐藤忠男『アジア映画小事典』三一書房1995年、29ページ、韓国映画振興公社『韓国映画年鑑』集文堂、1999年、王曉玉『中国電影史綱』上海古籍出版社、2003年、57ページ、劉文兵『証言日中映画人交流』集英社、2011年、75ページ、NHK『おしん』NHK エンタープライズ、2011年、高橋尚子他『韓国テレビドラマコレクション2010』キネマ旬報社、2010年、458ページ等を参照）。